

平成30年度各学年における検証改善サイクル スケジュール ～学力調査等との関連から～

尾道市立長江小学校

H29学年	1月	2月	3月	H30学年	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	H31学年
				小1													小2
小1	標準学力調査	結果分析		小2													小3
小2	標準学力調査			小3													小4
小3	標準学力調査			小4													小5
小4	1/18 市調査 (標準学力調査)			小5													小6
小5	標準学力調査			小6													中1
				学年													
				研究主任													
				教務主任													
				教頭													
				国語													
				社会													
				算数													
				理科													

課題の系統分析

課題の系統分

結果分析

課題改善に向けた取組

全国学力・学習状況調査 自校採点及び分析

めざす児童の姿の達成

次年度の目標の設定

課題となった設問, 領域等  
 全国学力  
 国語A 領域(伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項) 正答率(66.1%)  
 国語B 領域(読むこと)3(1) 正答率(69.0%)  
 算数B 領域(数量関係)2(2) 正答率(42.6%)  
 理科 領域(物質・エネルギー)3(1) 正答率(52.4%)  
 市学力調査  
 国語 領域(読むこと) 正答率(78.2%)  
 算数 領域(数量関係) 正答率(67.2%)  
 理科 領域(物質・エネルギー) 正答率(71.5%)

<具体策>  
 相手や場面に応じて適切に敬語を使わせる。漢字を文章の中で正しく使わせる。複数の資料を比較しながら読ませる。  
 <具体策>  
 複数の資料から変化を読み取らせ、その根拠を考えさせる。  
 <具体策>  
 示された情報を解釈し、数量の関係に着目して問題解決させる。  
 <具体策>  
 提示された現象と電流の動きに関する知識・技能を結び付けて解釈し、実際の回路に当てはめて適用できるようにさせる。

<定着に向けて>  
 作文、日記、発表等において、相手や場面に応じて適切に敬語を使う指導を継続する。文章を書く際に、漢字の意味を考え、正しく使うことや前学年までに学習した漢字を意識して使わせる。比べる視点を明確にして、読ませる。  
 <定着に向けて>  
 どの資料をもとに考えたか、考えの根拠を明らかにさせる。  
 <定着に向けて>  
 複数の情報から必要な情報を取り出し、それらを関係付けて思考させる。問題場面、式、図、表等を関連させながら説明させる。  
 <定着に向けて>  
 課題解決の場面で、実験の結果を整理し考察する活動を充実させる。

課題となった設問, 領域等  
 全国学力  
 国語A 目標値(110%)実施後( )  
 算数B 目標値(120%)実施後( )  
 理科 目標値(110%)実施後( )